

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【公表番号】特表2009-537094(P2009-537094A)

【公表日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-042

【出願番号】特願2009-509543(P2009-509543)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 1 0 Z

H 04 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月28日(2011.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信機から、第1のデータ・セットを送信する段階、及び
前記送信機から、第2のデータ・セットを送信する段階、
を有し、

前記第1のデータ・セットを有するシーケンシャルなデータ部分の送信は、前記第1の
データ・セットを有するシーケンシャルに送信された部分の受信と受信の間に、受信機に
省電力モードを開始及び終了することを許容する長さの個々の時間間隔により分割され、

前記第2のデータ・セットは、ユーザーにより選択可能な番組を有し、前記第2のデータ・
セットの全ての部分の送信は、前記第2のデータ・セットを有するシーケンシャルに
送信された部分の受信と受信の間に、受信機に省電力モードを開始及び終了することを許
容しない長さの個々の時間間隔により分割される、

ことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記受信機は電源をオフにされることにより省電力モードを開始する、
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記第2のデータ・セットを送信する段階は、受信機が前記第2のデータ・セットを受
信する間、連続的にオンのままであるプロトコルに従い前記第2のデータ・セットを送信
する段階を有する、

ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記第2のデータ・セットを送信する段階は、前記第1のデータ・セットの送信の少な
くとも部分が重なり合う期間中に前記第2のデータ・セットを送信する段階を有する、
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記第1のデータ・セットを送信する段階は、バースト・モードで送信する段階を有し
、
前記第2のデータ・セットを送信する段階は、連続モードで送信する段階を有する、

ことを特徴とする請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 及び第 2 のデータ・セットを送信する段階は、残留側波帯変調フォーマットに従い送信する段階を有する、

ことを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 及び第 2 のデータ・セットを送信する段階は、ATSC A / 53 デジタル・テレビジョン規格に従い送信する段階を有する、

ことを特徴とする請求項 4 記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 のデータ・セットを送信する段階は、バースト・モードで送信する段階を有し、

前記第 2 のデータ・セットを送信する段階は、連続モードで送信する段階を有する、

ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】

前記第 2 のデータ・セットは番組コンテンツを有し、前記番組コンテンツは符号化されインターーリープされている、

ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 10】

(1) 前記第 1 のデータ・セットは第 1 の再生レートで表示されるデータを有し、

(2) 前記第 2 のデータ・セットは第 2 の再生レートで表示されるデータを有し、

(3) 前記第 1 のデータ・セットは前記第 1 の再生レートより実質的に高いレートで送信され、前記第 2 のデータ・セットは実質的に前記第 2 の再生レートで送信される、

ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 のデータ・セットの少なくとも 1 つの部分は、所定のスケジュールに従い複数回送信される、

ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 12】

第 1 のデータ・セットの部分の情報源と結合されたバッファ、

前記バッファから第 2 のデータ・セットの部分と共に受信された前記第 1 のデータ・セットの部分を多重化する多重化装置、及び

前記多重化装置と結合され、前記第 1 のデータ・セット及び前記第 2 のデータ・セットの多重化された部分を受信及び送信する通信機、

を有し、

前記通信機は、前記第 1 のデータ・セットのシーケンシャルな部分の受信と受信の間に、受信機に省電力モードを開始及び終了を許容する長さを有する個々の時間間隔により分割された前記第 1 のデータ・セットの部分を送信し、

前記通信機は、受信機が前記送信されたデータを受信する間にオンのままであるプロトコルに従い、前記第 2 のデータ・セットの部分を送信する、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 13】

前記通信機は、前記第 1 のデータ・セットの送信の少なくとも部分が重なり合う期間中に前記第 2 のデータ・セットを送信する段階を有する、

ことを特徴とする請求項 12 記載のシステム。

【請求項 14】

(1) 前記第 1 のデータ・セットは第 1 の再生レートで表示されるデータを有し、

(2) 前記第 2 のデータ・セットは第 2 の再生レートで表示されるデータを有し、

(3) 前記通信機は前記第 1 のデータ・セットを前記第 1 の再生レートより実質的に高いレートで送信し、前記第 2 のデータ・セットを実質的に前記第 2 の再生レートで送信す

る、

ことを特徴とする請求項 1 2 記載のシステム。

【請求項 1 5】

データを受信する方法であって、

第 1 のストリームからバースト送信を受信するために、受信機が固定された周期的なアクティブな期間の間に、省電力モードを終了する段階、

前記アクティブな期間の間に、前記受信機が、前記第 1 のストリームから前記バースト送信を受信する段階であって、前記バーストは連続モード送信システムを介し残留側波帯変調フォーマットで受信される、段階、

前記アクティブな期間の間に、前記受信機が、第 2 のストリームからデータを受信する段階であって、前記第2のストリームからのデータは連続モード送信システムを介し残留側波帯変調フォーマットで受信される、段階、

前記第 2 のストリームから受信されたデータを廃棄する段階、及び

前記第1のストリームからバースト送信を受信した後に、前記第 1 のストリームからの別のバーストを待ちながら、固定された周期的な省電力期間の間、前記省電力モードに入る段階、

を有し、

前記バースト送信は、前記送信と同期するために受信機により使用可能なデータを有する同期セグメントを有するデータ構造を用いる、

ことを特徴とする方法。

【請求項 1 6】

前記省電力モードを終了する段階は、バースト送信の予定到来時間に基づく時間に終了する段階を有する、

ことを特徴とする請求項 1 5 記載の方法。

【請求項 1 7】

前記第 2 のストリームから受信したデータは、関心のあるデータ・ストリームに属しないことを決定する段階、

を更に有する請求項 1 5 記載の方法。

【請求項 1 8】

前記受信機は、携帯型再生装置の受信機である、

ことを特徴とする請求項 1 5 記載の方法。

【請求項 1 9】

前記方法は、前記受信機が連続的に動作する場合と比較して低減された消費電力を提供する、

ことを特徴とする請求項 1 5 記載の方法。

【請求項 2 0】

データを受信する装置であって、

第 1 のストリームからバースト送信を受信するために、受信機で固定された周期的な受信期間の間に、省電力モードを終了する手段、

前記受信期間の間に、前記受信機で、前記第 1 のストリームから前記バースト送信を受信する手段であって、前記バーストは連続モード送信システムを介し残留側波帯変調フォーマットで受信される、手段、

前記受信期間の間に、前記受信機で、第 2 のストリームからデータを受信する手段であって、前記第2のストリームからのデータは連続モード送信システムを介し残留側波帯変調フォーマットで受信される、手段、

前記第 2 のストリームから受信されたデータを廃棄する手段、及び

前記第1のストリームからバースト送信を受信した後に、前記第 1 のストリームからの別のバーストを待ちながら、固定された周期的な省電力期間の間、前記省電力モードに入る手段、

を有し、

前記バースト送信は、前記送信と同期するために受信機により使用可能なデータを有する同期セグメントを有するデータ構造を用いる、
ことを特徴とする装置。

【請求項 2 1】

バースト送信の予定到来時間に基づく時間に前記省電力モードを終了する、
ことを特徴とする請求項 2 0 記載の装置。

【請求項 2 2】

前記第 2 のストリームから受信したデータは、関心のあるデータ・ストリームに属しないことを決定する、

ことを特徴とする請求項 2 0 記載の装置。

【請求項 2 3】

前記装置は、携帯型再生装置の受信機である、
ことを特徴とする請求項 2 0 記載の装置。

【請求項 2 4】

前記装置は、前記装置が連続的に動作する場合と比較して低減された消費電力で動作する、

ことを特徴とする請求項 2 0 記載の受信機。

【請求項 2 5】

格納された複数の命令を有する持続性コンピューター可読媒体であって、
前記複数の命令は、
第 1 のストリームからバースト送信を受信するために、受信機が固定された周期的な受信期間の間、省電力モードを終了する段階、

前記受信期間の間、前記受信機が、前記第 1 のストリームから前記バースト送信を受信する段階であって、前記バーストは連続モード送信システムを介し残留側波帶変調フォーマットで受信される、段階、

前記受信期間の間に、前記受信機が、第 2 のストリームからデータを受信する段階であって、前記第 2 のストリームからのデータは連続モード送信システムを介し残留側波帶変調フォーマットで受信される、段階、

前記第 2 のストリームから受信されたデータを廃棄する段階、及び

前記第 1 のストリームからバースト送信を受信した後に、前記第 1 のストリームからの別のバーストを待ちながら、固定された周期的な省電力期間の間、前記省電力モードを開始する段階、

を実行するためのものであり、

前記バースト送信は、前記送信と同期するために受信機により使用可能なデータを有する同期セグメントを有するデータ構造を用いる、
ことを特徴とするコンピューター可読媒体。

【請求項 2 6】

前記第 2 のストリームから受信された前記データは、A T S C A / 5 3 デジタル・テレビジョン規格を用いる送信からのものであり、A / 5 3 互換性のある受信機に前記第 2 のストリームから受信された前記データを表示させ、

前記第 1 のストリームからの前記バースト送信は、A T S C A / 5 3 デジタル・テレビジョン規格と互換性がある、

ことを特徴とする請求項 1 5 に記載の方法。